

まなび

発行 松永地域振興課編集室
住所 福山市松永町三丁目1番29号
電話 084-934-5443
FAX 084-934-8251
メール matsunaga-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp



(二次元コード)

人権・社会教育活動事業

「行政相談について考える」パネル展を開催します

期 間 10月8日(木)から22日(木)まで

場 所 西部市民センター1階 エントランス



行政相談
マスコット
キクーン

『行政相談員の仕事って何だろう?』『行政相談ってなに?』・・・行政全般に関する具体的な相談事例や行政手続きなどに関する問い合わせなど、地域住民のみなさまに身近な相談窓口である行政相談委員制度についてパネル展を実施します。また、松永地域には多くの外国人市民の方も住んでおられます。多言語での説明資料などを用いて、外国人市民をはじめ多くの市民に分かりやすい工夫をして紹介します。この機会を通じて、「行政相談員」の仕事や「行政相談」についての理解につながればと思います。

第16回フレンドリーピック まつなが カーブ チェー Matsunaga Carpe Diem

第16回まつながカーブチェー第2回実行委員会を、9月17日(木)に開催しました。

今年度のまつながカーブチェーのテーマとサブテーマは、参加された方々が互いに交流し、つながりを深める場となることをめざして、テーマを『誰もが暮らしやすい、多文化共生のまちづくり』、サブテーマを『～つながる笑顔、ひろがる輪～』とすることに決定しました。

また、今年度も、メイン会場を「西部市民センター」、サブ会場を「松永はきもの資料館・長和島公園」として、体験・展示・ステージ発表などを行うとともに、3会場をつなぐクイズラリーも実施することとしました。



引き続き、第16回まつながカーブチェーの実施に向け取り組んでまいりますので、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

上村先生と『てつがくカフェ』

今年度第1回目の「てつがくカフェ」を、福山平成大学の上村先生にファシリテーターをお願いし、9月19日(土)に開催しました。

今回は『「ふつう」ってなんだろう?』をテーマに、参加者の方々と対話を繰り返しました。参加された方々から、それぞれの経験や体験に基づいた意見をたくさん出していただきました。

「てつがくカフェ」は、ひとつの答えを出すのではなく、『対話』を通して、自分自身の気づきや発見、考え方に広がりや深まりが持てるというものです。第1回の内容をふまえ、次回のテーマは『「勇気をもつ」ってどういうこと?』に決まりました。次回も、参加者の方々との『対話』を楽しめる場になればと思っています。



★第2回★

11月21日(土) 10時から12時
西部市民センター 5階 大会議室

共生のまちづくりシンポジウム～ボッチャ体験会～

8月22日（土）、西部市民センター2階ホールにて、見出しの会を開催しました。

当日は42名の方にご参加いただき、ボッチャの楽しさ、おもしろさを体験していただいた後、意見交換をし、多様な人々が共に暮らしていけるまちづくりについて考えていただきました。

ボッチャ体験に先立ち、講師の社会福祉法人虹の会の方から、「ユニバーサルスポーツ」についてのお話をしていただきました。

年齢や障がいの有無などにかかわらず、誰もが一緒に楽しむことができるユニバーサルスポーツについて、身近な例を交えながら分かりやすくお話しいただきました。



体験会 ボッチャとフライングディスクの体験コーナーを設け

ました。ボッチャコーナーでは、3人1組のチームに分かれて、2チームずつコートに入り、実際に体験していただきました。年齢に関係なくチームを組むことで、普段はなかなか交流する機会のない世代間の交流が生まれました。また、見事なプレーが出ると、チームの垣根を越えて自然と歓声や拍手が起こり、会場は大いに盛りあがりました。フライングディスクコーナーでは、ディスクを投げて輪の中を通す競技を体験していただきました。投げる距離を選ぶことができ、子どもからおとなまで、いろいろな方が楽しんでいました。

意見交換 体験していただいた後の意見交換ではさまざまなアイデアや意見が出され、

地域での交流について考えるきっかけとなりました。いくつか抜粋してご紹介します！

①「やってみて感じたこと」「ボッチャは、なぜ誰でも楽しめる？」

- ・ルールがわかりやすく、簡単だった
- ・頭を使うスポーツだと感じた
- ・フライングディスク体験では、投げる距離を選べたのがよかった
- ・初対面の人とでも交流しながら楽しめるスポーツだと思った

②「私たちの地域でボッチャをするとしたら、どんな場所で、誰とやってみたいか？」

「ボッチャ以外にも、みんなが楽しめる・交流できる機会が作れないだろうか？」

- ・自治会（町内会）や老人クラブ、学校、地域のイベントで取り入れてみたらどうか？
- ・子ども、保護者、高齢者の全世代が参加するボッチャ大会をしてはどうだろうか？
- ・地域の行事が多いので、新たな行事としてではなく、グラウンドゴルフやペタンクなど、年度ごとに種目を変えて大会を開催してみてもどうか？
- ・ボッチャは外国人の人とも一緒に楽しめるスポーツだと思った

今回のシンポジウムで、ユニバーサルスポーツについてのお話や、ボッチャ・フライングディスクの体験を通して楽しく学び、交流する機会をつくってくださった社会福祉法人虹の会のみなさま、そしてご参加いただいたみなさまに、心より感謝申し上げます。



まつながる駅北ストリート キャンパスプロジェクト 本年8月始動！



地域団体の方も参加し懇談会を行いました

共同宣言後には、プロジェクトリーダーを務める福山大学学長補佐の佐藤教授や福山大学の学生、地域団体の方との懇談会を行いました。今津まちづくり推進委員会の森委員長からは「このプロジェクトを機に、福山大学の先生・学生の専門知識と地域住民の意見を取り入れながら、皆で新しい松永の絵を描いていきたい」とのコメントがありました。



まつながるカラコロ広場でにぎわい創出

松永駅北口からすぐ近くの場所にあり、芝生広場とキッチンカー等を取り入れることができる平地の公共広場です。市が、松永駅周辺のにぎわい再生に向けて、市民、地域団体、大学及び事業者などの多様な主体と連携し、駅北口周辺の空間利活用を行う実証実験の場として設置しました。本年7月から、目的に合ったイベント等であれば、だれでも無料で占有使用できます。【要申請】

普段はだれもが自由に出入り・滞留できる公園のような空間として、また地域団体や学生等によるイベント等の実施場所として活用いただくことで、松永駅北口周辺における市民や学生の日常的な交流やにぎわい創出を図っていきます。



プロジェクトの取組はロゴが目印になります



大学を想起させる角帽をモチーフに、上部分は、北口の道路と旧商店街、福山大学のキャンパスを、下部分は、ストリートキャンパス『Street Campus』の頭文字『S』と『C』を、万年筆のペン先のイラストで表現しています。

発足式で共同宣言を行いました

福山市では、本年3月に策定した「地域の拠点づくり戦略」に基づき、市内6地域で地域の拠点づくりを進めています。

松永地域においては「みんなで考える松永駅北口のまち」をテーマに、地域の有志による老朽化したアーケードの撤去や夜店等のイベントの開催、松永未来会議をはじめとした地域住民の意見交換など、盛り上がりを見せています。

こうした中、福山大学と福山市はこれまで以上に連携を強化し、松永駅北口のにぎわいづくりに取り組むため、「まつながる駅北ストリートキャンパスプロジェクト」を発足することとしました。

2026年（令和8年）8月26日（水）、福山大学未来創造館で発足式を開催し、学校法人福山大学 鈴木理事長、福山大学 大塚学長、福山市 枝広市長が出席されました。プロジェクトの愛称は「駅北キャンパスPJ」。プロジェクトの趣旨や推進体制、「学生が滞在し、活動・挑戦し、地域と関わる駅前空間づくり」に取り組むことを確認し、共同宣言を行いました。

【宣言文】

- 一、学生と地域の人々が心地よく「滞在」し、日常的に人が集う開かれた空間をつくります。
- 一、学生と地域の人々が自由な発想で「活動・挑戦」できる実践の場を創出します。
- 一、学生と地域の人々が積極的に「交流」し、協力して取り組むことを通して相互理解と親交を深め、絆を育んでいけるよう、事業を展開します。



詳しくはQRから





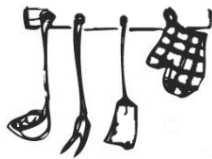
情報びっくり箱



本郷交流館 (936-1123)

☆まちづくり推進委員会 生き生き事業
韓国料理教室

- と き 10月13日(火) 10時~12時
- ところ 本郷交流館 実習室
- 内 容 韓国料理ケランチム、スンドゥブ、オジジの三品をつくります。
- 対象者 成人一般
- 講 師 池田 恵子さん
- 定 員 12人(先着)



※要申込み

- 参加費・材料費 1,200円
- 持参物 エプロン、三角巾、材料費
- その他、注意事項
*アレルギー対応は行っておりません。発熱など、当日体調不良の際は参加をお控えください。
- 問合せ・申込み 本郷交流館へ

東村交流館 (936-0600)

☆社会教育活動事業

第2回 もしものための防災教室

楽しく作ってもしもの備えに！ポリ袋湯煎調理

- と き 10月14日(水) 10時~12時30分
- ところ 東村交流館 1階実習室
- 内 容 ポリ袋を使った簡単湯煎調理体験。もしもの時に役立つワンプレート料理を作ります。
- 対象者 成人一般
- 講 師 吉永 綾子さん(防災リーダー・栄養士)
渡辺 友子さん(防災リーダー)

※要申込み→10月8日(木)まで

- 定 員 10人
- 参加費・材料費 300円
- 持参物 エプロン、フキン、材料費
- 問合せ・申込み 東村交流館へ



神村コミュニティセンター (934-3445)

☆高齢者交流事業

「リンパ体操」

- と き 10月27日(火) 13時30分~15時
- ところ 神村ふれあいプラザ
- 内 容 リンパ体操
- 対象者 高齢者
- 講 師 追林 けい子さん
- 参加費 なし
- 持参物 水分補給のための飲み物
- 問合せ 神村コミュニティセンターへ

松永図書館 (933-3770)

☆展 示 (松永図書館 展示コーナー)

- 「食と健康について考えよう」
- と き 10月21日(水)~11月16日(月)
- 「映画化された名作ミステリー」
- と き 11月18日(水)~12月14日(月)

☆「おとなのための朗読会」

- と き 11月9日(月) 14:00~15:20
- 内 容 おとな向けの朗読会
- 要申込 10月26日(月) 10:00~

☆あかちゃんといっしょのおはなし会

- と き 10月14日(水) 15日(木)
11月11日(水) 12日(木)
いずれも11時~11時15分
- 内 容 乳幼児とその保護者を対象にしたおはなし会



☆土ようびのおはなしのじかん

- と き 毎週土曜日 15時~15時15分
- 内 容 幼児・児童とその保護者を対象にしたおはなし会

【10月、11月のお休み】

10月20日(火)、11月17日(火)

まつながハロウィン実行委員会からのお知らせ

まつなが HALLOWEEN

- 日 時 10月31日(土) 12時~21時
- 会 場 松永駅北口路上(松永駅北口交差点から松永駅入口交差点まで約120m)
- 内 容 松永駅北口のにぎわい創出に向け、ワールドビュッフェの開催やゾンビ演出企画等、松永地域最大規模のハロウィンイベントであると共に松永の特徴を生かした多文化共生イベントです。
- 主 催 まつながハロウィン実行委員会

